

【日時】：2024 年 3 月 27 日（水）13:30～16:30（公開）

【場所】：石原産業(株)四日市工場総合事務所 B ホール

【出席者】

出席委員

専門委員長 大東憲二

専門委員 坂部孝夫

委員以外の出席者

森本工産株式会社（調査対策協力会社）

石原産業株式会社（事業者）

【議事】

1. 議題

1) 敷地全域地下水モニタリング調査結果

2) 北西域・南東域揚水に関する進捗報告

①北西域及び南東域バリア井戸運転実績

②モニタリング結果

・北西域バリア井戸モニタリング調査結果

・南東域揚水に関する進捗報告

③宙水処理設備の稼働状況

3) 土壌地下水汚染の新規対策等に関する報告

①北西域ホットスポット対策効果

②工場新設と旧工場撤去状況(農薬製造工場撤去)

③北西域バリア井戸の揚水井追加工事の進捗状況について

4) 環境専門委員会の解散と今後について

2. 議事概要

公開・非公開の審議

冒頭、委員長より、報告内容に関して非公開にする事項がないことから、公開・非公開の審議を行わず、全て公開にするとされた。

1) 敷地全域地下水モニタリング調査結果

資料 1 に基づき、敷地全域地下水モニタリング調査結果について報告した。

【質疑応答】

なし

2) 北西域・南東域揚水に関する進捗報告

①北西域及び南東域バリア井戸運転実績

資料 2 に基づき、北西域バリア井戸に関して揚水を開始した 2011 年からのバリア井戸の揚水量とひ素濃度の推移について、また南東域バリア井戸に関して揚水を開始した 2016 年からのバリア井戸の揚水量及び VOC 濃度の推移について報告した。

(専門委員) 南東域に関しては順調に VOC 濃度が低下しており、北西域に関してはひ素濃度は横ばいで、増加はしていないと理解した。

②モニタリング結果

・北西域バリア井戸モニタリング調査結果

資料 3-1 に基づき、北西域バリア井戸の揚水井及び観測井のモニタリング状況について報告した。

・南東域揚水に関する進捗報告

資料 3-2 に基づき、南東域バリア井戸の揚水井及び観測井のモニタリング状況について報告した。

(専門委員) 南東域のように透水性のいい所では地下水が汲み上げ易く、VOC 濃度が低下しやすい。一方で透水性の悪い所では、北西域のひ素濃度のよう到低下しにくい。地質由来の透水性の影響が出ていると考えられる。

③宙水処理設備の稼働状況

資料 4 に基づき、宙水処理設備の稼働状況について報告した。

【質疑応答】

なし

3) 土壌地下水汚染の新規対策等に関する報告

①北西域ホットスポット対策効果

資料 5 に基づき、ホットスポット（高濃度 As 分布箇所）への汚染拡散防止壁工法工事実施について報告した。

【質疑応答】

なし

②工場新設と旧工場撤去状況（農薬製造工場撤去）

資料 6 に基づき、農薬製剤工場新設と旧工場（農薬製造工場）撤去状況について報告した。

【質疑応答】

なし

③北西域バリア井戸の揚水井追加工事の進捗状況について

資料 7 に基づき、北西域バリア井戸の追加工事について、新たな揚水井と観測井設置地点や土壌分析等を報告した。

（専門委員） pH が低い所でひ素濃度が高いため、pH がひ素濃度が高くなる一因になっていると推測される

4) 環境専門委員会の解散と今後について

資料 8 に基づき、環境専門委員会の見直しと今後について報告した。

【質疑応答】

なし

(傍聴者)

大林組は北西域ホットスポット対策の汚染拡散防止壁工法に関して携わらせていただいた。大林組と石原産業で共同開発した薬剤に関して、pH 等厳しい条件でも効果があることから、環境専門委員会以外でも他者に知っていただきたいということで、研究発表会で発表予定である。委員会としては引き続き行うとのことであるため、少しでもお役に立てればと思う。

(石原産業)

環境専門委員会は、石原産業四日市工場の土壌地下水汚染調査及び対策を学識経験者にご指導いただきながら実施してきた。2008年に委員会を立ち上げて以降、16年間取り組んできた。コロナ下では活発な活動ができず、本委員会は4年ぶりの開催である。今後も、地元住民の方にご理解いただく形で取り組んでいくためよろしくお願いします。

以上、環境専門委員会の審議はすべて終了した。

以 上